

会 議 録

会 議 名	第4回川西市行財政改革審議会		
事 務 局 (担当課)	総合政策部行政経営室経営改革課		
開 催 日 時	平成29年8月10日(木) 18時30分から20時30分		
開 催 場 所	市役所4階 庁議室		
出 席 者	委 員	上村 敏之 委員、和田 聡子 委員、田辺 彰子 委員、 國津 元司 委員、三好 公一 委員、武内 秀男 委員、 吉田 誠 委員、真鍋 由香里 委員	
	そ の 他		
	事 務 局	松木総合政策部長、作田行政経営室長、船木財政課長、 的場経営改革課長、大村経営改革課長補佐、中村、多田	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由			
会 議 次 第	1.開会 2.議事 3.閉会		
会 議 結 課	別紙審議経過のとおり		

審議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>ご案内しておりました時間がまいりましたので、「第4回川西市行財政改革審議会」を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日も活発なご議論をいただけたらと存じますので、よろしく願いいたします。まず、配布資料の確認をいたします。</p> <p style="text-align: center;">< 資料確認 ></p> <p>それでは上村会長、議事の進行をよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>皆様こんばんは。</p> <p>本日は行財政改革後期実行計画のこれまでの主な審議内容と答申(案)ということで、議論を進めていきたいと考えております。</p>
会長	<p>資料3については第1回目にも確認したが、基金残高を切り崩しても5年後には赤字が発生し、収支はずっと赤字になってしまうので行財政改革をやらないと非常に厳しいという事がわかる。平成33年度で7.5億円の収支赤字になるので、これくらいは財源の確保と対策をしておかないと基金がゼロになってしまう。それを踏まえて資料1から議論を進めていきたい。</p> <p>まずは項目を確認したい。参画と協働のまちづくり推進、革新し続ける行政経営の推進、持続可能な財政基盤の確立、機動的な組織体制の構築と4つある。まずはこの項目について議論をしたい。</p> <p style="text-align: center;">【参画と協働のまちづくり推進】</p>
委員	<p>自立を促すための支援に取り組むという事は、一括交付金の見直しを行うということか。</p>
事務局	<p>一括交付金を見直すという意味合いではなく、地域が自ら考え、自立できるように徐々に地域担当職員のサポートを減らしていくような想定をしている。</p>
委員	<p>地域をサポートしている職員をなくして自立をしてもらおうという考えか。</p>
事務局	<p>徐々にその方向に進めた方が良く考えている。</p>
委員	<p>その意味合いは何があるのか。</p>
事務局	<p>地域分権として地域づくり一括交付金を出させていただき、当時は担当職員と直接的にサポートしていたことが多かったが、地域の方のご尽力もあり、各地域で課題解決をしていただいている。少しずつ地域自立の移行という意味で記載している。</p>
会長	<p>まだ地域はそんなに自立していないので職員はまだ必要だという意見か。</p>
委員	<p>自立できていない地域もある。そこにはまだサポートが必要。職員と地域のつながりを上手く作ってくれている意味でもまだ必要性はあると思う。</p>
会長	<p>方向としては望ましいと思っているが、慎重に検証をすることが必要だと思う。</p>

発言者	発言内容等
	<p>主な意見のところに地域づくり一括交付金を継続して行うと書いてあるので、事務局側は理解していると解釈している。文章の工夫をしていただくということで検討していただきたい。</p> <p>【革新し続ける行政経営の推進】</p>
委員	<p>民間に委託しても実際には行政の人件費を削減することが難しいのであれば、職員の能力を上げて、1人あたりの仕事の質や量を増やす努力が必要だと思う。行政だから不採算でもやるというのはわかるが、これだけ財源が厳しい状況であればスクラップすることも考えないといけない。市民からの反発はあると思うが、時代遅れの業務は見直すということを真剣にやらないといけない。</p>
委員	<p>民間委託後の効果検証が重要だと思う。コスト優先で考えていくと質やサービスの低下につながるので、ここに書かれているとおり市が責任を持ってやるべきだと思う。</p>
会長	<p>事前に起こりうる問題を事前にしっかりと検証をして、契約時に盛り込んでいく事が必要だと思う。</p>
委員	<p>委託した後に余った人材をどうするかという問題があると思う。余った人材には新しい別の仕事をしてもらえないといけない。外に出せばいいということではない。民間のノウハウを入れることが大事だと思う。</p>
会長	<p>すぐに行革の効果が見える事はないと思うが、中長期的にやっていかないといけない。とはいえ、民間に任せることができるものについては任せればいいのかと個人的に思っているがどうか。</p>
委員	<p>民間に任せられることは委託を進める必要性があると思う。</p>
会長	<p>民間にできる事を民間に任せる事は賛成。すぐに効果は出ないと思うが。</p>
委員	<p>指定管理者制度を導入するということになると、図書館や斎場等と施設名を記載すると記載されている施設だけが対象のように見えるので、名称は出さない方がよいのではないかと。</p> <p>また、コストの問題を重視して民間委託を考えていると思うが、この文言であれば市民サービス向上を目的と限定している。財源がない中でこのテーマを挙げているのに、コストの話が全く出ていないのはどうかと思う。</p>
会長	<p>コストという文言が文章に入っていないということで良いか。</p>
委員	<p>市民サービスの向上という視点から民間の活用が効果的な場合には民間を活用しなさいという文章になっている。民間の方が効率的・効果的に実施できるというような文言も必要ではないか。</p>
会長	<p>『民間の活用が効率的な場合は』と書いてあるのでそこで読んでいただければ。</p>
委員	<p>『革新し続ける行政経営の推進』と題されているが、中身は民間活用だけの話のように思う。3と4は詳しく書かれているが1と2が少なくバランスが悪いように思う。</p>
会長	<p>1と2の項目を統合して大きな項目を3つにするということか。</p>

発言者	発言内容等
委員	1は全体の市のことなので、2と3を統合できないかと思う。
事務局	<p>平成25年度から10年間の行財政改革大綱という計画があり、その中の4本の柱がこの項目になっている。大綱に基づいた実行計画なので、統合するのは難しい状況。</p> <p>【持続可能な財政基盤の確立】</p>
委員	現在の厳しい財政状況を作っていない若い方々が今後対応していかないといけない。実際に厳しい財政を作ってきた職員や議員が今後関わるようなことはあるのか。
会長	想いとしてはよく分かる。今の想いはどこかに残してもいいかもしれない。答申の文書の所で考えたいと思う。
委員	議員の報酬見直しについては、議員に任せていたら削減しない。身を切る改革というのは市の職員はされている。何らかの形で改革していかないといけないと思う。
委員	職員給料について手当の見直しをどのようにされるのか。それについて議論がされていなかったのが気になっている。
会長	職員人件費の適正化については答申にしっかり書いているので、ここでカバーできていると思う。「事業の廃止を含めた抜本的な取り組み」は1番難しいと思うが、強い意志を持って是非取り組んで頂きたい。
委員	広域行政の推進の部分は、委員の方々の意見を集約されたものが網羅されているので良い内容だと思う。
委員	広域行政についても、同じような機能を持った、似たような組織があると思う。そういうものはどちらかに機能を集約するべき。
会長	業務改善・効率化のところで、県事業との調整や重複のチェックを事業の目的や効果のところに加えるような方法がいいと思う。
会長	<p>行政センターについて不便にならないようにしてほしい。利便性が下がらないよう進めていくという事は前提になっていると思う。公共施設の管理計画に沿ってやっていただくということが大切だと思う。</p> <p>【機動的な組織体制の構築と人材の育成】</p>
委員	書いている事は分かるが具体的にどういう事を想定されているのかがわからない。
会長	具体的に行動に移すことが大変だと思う。
委員	『ICT技術を活用した取り組み』は、大綱では「2.革新し続ける行政経営の推進」の項目なのでそちらで記載してはどうか。
会長	後期行財政計画の5年間でICT技術をどこまで取り入れられるのかわからな

発言者	発言内容等
事務局	<p>いし、AI化がどこまで行政に入ってくるのかが予測できない。ICTの活用というのはクラウド化・電子決裁以外では具体的に何を想定されているのか。</p> <p>例えばマイナンバーの活用。ただマイナンバーカードの普及率が全国的に低い。川西市は県内では良い方だがそれでも数値的に低い。住民票の発行だけでなく、チップ化をして図書館のカードとして利用するなど色々な使用方法がある。普及さえ進めばいろんな活用方法は考えられる。</p>
会長	<p>どこまで普及すれば市民サービスが向上するくらいまで活用ができるのか。</p>
事務局	<p>現時点でマイナンバーが普及していないのはカードだけにしか意味が無いため、カードに複数の機能を持たせるようにすればどんどん普及していくと思う。そのため、現在は必要性を感じられないという状態になっている。そこを考えていけないといけないということがこの5年間に課せられていると思う。</p>
会長	<p>これは市だけの責任ではないのでそこを期待するのは難しいと思う。そうするとICTを活用した取り組みを別の項目にするのは難しそうなので現状のままで良いか。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>研修のあり方と人材育成というのは大切だと思う。まさに将来の川西市をつくるというのがここに関わってくる。</p>
委員	<p>庁内で職員が業務改善に対する提案を行って、それを表彰するという制度はあるのか。</p>
事務局	<p>今の業務改善の提案方法は、課単位で行動計画を作成して毎年出していき事になっている。委員が想定されているような個人がアイデアを出して、良いものがあれば表彰という制度は、以前はあったが現在は無い。</p>
委員	<p>システムがあろうがなかろうが本人達次第だと思う。活気のある職場に見えない。まずこの財政状況を職員が把握して、このままではいけないと危機感を持たせることが必要である。このままだと市が破産するかもしれないということを気付かせていないのが問題。</p>
委員	<p>人材の育成と意識改革を含めて、自分たちの職場をどのように良くしていくかという策を民間ではしている。職員が自ら変えていこうという風土が必要。</p>
委員	<p>基金も予備費もゼロになって赤字に陥ることが確定しているが見えるが、行政上の会計でいくとこれは表向きで何か他に何かあるのか。本当にこれだと真剣にならないといけない。</p>
会長	<p>他に何もなく、これは本当に危機的な状態です。</p>
委員	<p>財政債権団体になるかは別として、近い状態に陥るとするのがこの資料なのか。</p>
事務局	<p>このまま放っておくことはまずありえないが、仮にこうなったとして33年に達するまでには改革をしなければならない。</p>
委員	<p>研修の中身を見直すという事は急務だと思う。意識改革については研修そのもの</p>

発言者	発言内容等
	を見直す必要があるが、改革だけでなく効率的に付加価値を付けて仕事をできる人材が必要。研修制度以外でも外部の活用をすべきだと思う。
委員	近隣の市町との人事交流はあるのか。
事務局	宝塚市・伊丹市・猪名川町と人事交流をしていた時期もあるが、現在はしていない。
委員	他の市町を見ることで、勉強ができて戻ってきた時に川西市で反映させる。そういうチャンスを作ってもいいように思う。
委員	相対化して自分の市を見るというのは大事だと思う。
委員	内閣府に行っているのは研修なのか。
事務局	毎年1名ずつ研修で派遣している。
委員	安定を求めて公務員になっている人が多いのであれば、意識改革は難しいのではないか。
会長	そういう人もいるかもしれないが、やる気を持って地域を活性化させたいという人もおられるのでケースバイケースだと思う。昔に比べると今はだいぶ変わってきていると思う。最近の若い方は地域を良くしたいという気持ちで入ってこられる方が多いという印象は持っている。
委員	若い方がそう思っている人が多いのであればうまくいくと思う。
会長	<p>研修のあり方を良くすると書いてあるが、どう良くするのかということが書き込めていない。やはり内部的に改善するという事は難しいと思うので、外部の方と連携してやっていくほうが良い。</p> <p>特に事業の廃止を含めた抜本的な取り組みについて、市は事務事業をやっているのをそれをベースにどう改善するべきなのかということを中心にみんなで議論し合うような研修制度のあり方というのが必要。</p> <p>パソコンのスキルを上げるとかコミュニケーション能力を向上させるというのも大事だが、むしろ行政サービスそのものを良くするような事務事業のあり方を考えるような研修制度をやってもらいたい。</p> <p>市がやっている事務事業をどう改善して行くのかという事をテーマにした勉強会ができるようになればと思います。</p>
会長	次に、資料2の答申(案)について議論したいと思います。
委員	3段落目が厳しく書かれている。それだけ財政が厳しいということだと思う。将来の世代のための行財政改革だということを文言として入れる必要がある。
委員	この改革を一丸となってやりきるということを文言として入れてほしい。
会長	財政状態が非常に厳しいと書かれているし、この文言を見る限り厳しいということとは認識できる。そこで本気になってもらうということを期待したいと思う。
委員	「職員一人ひとり」より「総力をあげて」「職員が一丸となって」という文言、職員全体で相乗効果が出るという部分が大切。組織力の話しがあまり出ていない。
委員	人件費の給料を見直しとあるが、人数については見直すのか。臨時職員が多いと

発言者	発言内容等
事務局	<p>いう話があったが。</p> <p>臨時職員の数が多い理由のひとつに、定数削減において正職員を相当絞ってきたので臨時職員にてカバーをしているという部分がある。ただし、割合として多くなっていることが全て無駄というわけでは無い。削減すべきところは削減していきたい。定数に関しては組織の見直しの中で見直したい。</p>
委員	<p>この行財政改革が33年において達成されたとして、職員の方々に何か夢と希望を与えられるようなことができないかと思う。厳しいだけでなく努力した結果、何かないと努力できないと思う。</p>
会長	<p>確かに厳しい事ばかり書かれていて、やる気を削ぐような改革は良くないということはまさにそうだと思う。事務事業の中でどういう成果があり、どう推移していて、どう改善していくのかというところを今後5年はしっかりやらないといけないが、答申の中に具体的な行動が書かれていない。本当にできるのかという疑問があると思うがそこは期待したい。</p>
委員	<p>業務の改善・効率化によるコスト削減について、その策としては風土作りが急務と言っているだけで、具体的なことが書かれていない。</p>
会長	<p>そこは私も気になっている。具体的に何をするのかについての議論まではできなかった。本来はどう進めるのかということをもっとやらないといけないと思う。</p> <p>本日の議論でいただいたご意見についての加筆・修正は、私と事務局で調整させていただいてよろしいか。</p> <p><異議なし></p> <p>本日の議事は以上でございます。</p> <p>本日の意見を踏まえ、私と事務局で答申内容を協議し、次回の第5回で最終案をお示ししたいと考えておりますが、よろしいでしょうか</p> <p><異議なしの声></p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局にマイクをお返しいたします。</p>
事務局	<p>皆様ありがとうございました。</p> <p>次回第5回を8月21日(月)18時30分からこの庁議室にて予定しておりますので、皆様ご多忙かと存じますが、ご出席の程よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>